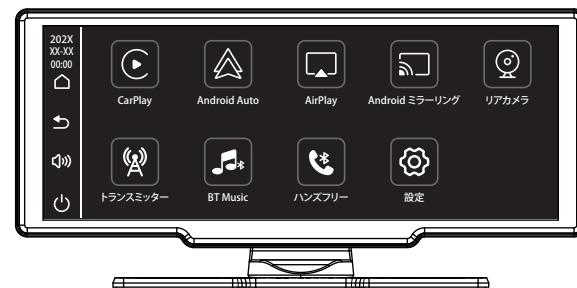


ディスプレイオーディオ AN-N004



ディスプレイオーディオ AN-N004をご購入いただき、ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

とくに安全上のご注意“(P4～5)” 使用上のご注意“(P6～7)” はご使用前に必ずご一読ください。

お読みになった後はいつでも確認できる場所(グローブボックスなど) に必ず保管してください。

製品の仕様(外観、付属品など) は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

もくじ

安全上のご注意	4	CarPlay	24
使用上のご注意	6	Android Auto	26
本体の取り付け位置について	8	AirPlay	28
取り付け時の注意事項	9	Androidミラーリング	30
機器の接続前に	10	リアカメラ	32
電波に関するご注意	11	トランスミッター	34
商標について	12	BT Music	36
対応 OSについて	12	ハンズフリー	38
同梱品	13	設定	40
各部名称	14	製品仕様	45
車両への設置(本体)	15	保証規定	50
操作する	20	保証書	51
ホーム画面	22		
メイン画面	23		

安全上のご注意

- ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項または、警告事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。記載されている注意、警告事項は危険な状況をすべて網羅しているわけではありません。使用に際しては十分に注意してください。
- 取扱説明書は保証書と一緒にお使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。

 警告		 警告	
誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		誤った取り扱いをすると人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。	
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。
	注意（告を含む）しなければならぬ内容を示しています。		

 警告	
DC12V / 24V マイナスアース車専用です	コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。
コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する ショートにより、火災や感電、故障の原因になります。	説明書に従って、取り付け・配線をする 作業は、手順通りに正しくおこなってください。火災・事故の原因になります。
取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する 正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。	取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する 取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・けが・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・けが・故障の原因となります。
ネジなどの小物類は、幼児の手の届かない所に保管する 誤って飲み込み、事故・けがの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。	
配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする 感電・けがの原因になります。	

安全上のご注意（つづき）

 警告	
 禁止 分解・改造をしない とくににコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。	 禁止 視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない 事故・けがの原因になります。
 禁止 取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない 制動不能・火災の原因になります。	助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしていない エアバッグの動作を妨げ、死亡事故・けがの原因になります。
車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない 事故・火災の原因になります。	

 注意	
 強制 車体のネジを使用して取り付けをおこなうときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける ネジが緩み、事故・故障の原因になります。	 禁止 コード類は絶対に途中で切断しない コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因になります。
コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当たらないよう配線する 断線やショートにより、感電・火災の原因になります。	コード類の配線は、車体の高温部に接触させない 火災や感電の原因になります。
付属部品を指定通りに使い、確実に固定する 付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。	水のかかる所、湿気やホコリの多い所や高温になる所には取り付けない 火災・故障の原因になります。
	通風孔・放熱板をふさがない 事故・火災の原因になります。

使用上のご注意



警告



強制

ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守る
事故・火災・故障の原因になります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

交通事故の原因になります。テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

カメラ使用時も目視による安全確認を必ずおこなう

カメラの死角になっている人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因になります。



禁止

故障や異常な状態のまま使用しない

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、必ず販売店（サービス相談窓口）に相談する。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因になります。

運転中は操作をしたり、画面を見ない

交通事故・けがの原因になります。操作や画面を見る場合には、必ず安全な場所に停車してください。

カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない

カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因になります。



注意



強制

実際の交通規制に従って運転する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。



禁止

車以外には使わない

感電・けがの原因になります。

本体コネクタ部やすき間などの機器内部に、指や異物を入れない

けが・故障の原因になります。



禁止

落下させる、たたくなどの強い衝撃を与えない

故障・火災の原因になります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故・故障または聴力障害の原因になります。

カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため注意して使用する

事故の原因になります。

使用上のご注意（つづき）



注意

本機の近くでは無線機を使わない

- ・本機側の雑音や誤動作の原因になったり、無線機の正常な送受言ができなくなる場合があります。無線機は、本機から離れてご使用になることをおすすめします。また、リモコンスターター・カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。
- ・キーレスエントリースystemが装着されている車では、キーを本機に近づけると、キーレスエントリースystemがキーを認識しなくなる場合があります。また、キーを本機や Bluetooth オーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。

無理な力を加えない

- ・製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

お手入れは乾いた布を使う

- ・お手入れは乾いた布が強く絞った布でふいてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- ・車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

温度上昇について

- ・本体背面が暖かくなりますが、故障ではありません。手をふれないでください。

ディスプレイについて

- ・濡れたままの手や手袋をつけた手では操作しないでください。正常に動作しない場合があります。

本機は国内で使う

- ・本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。



注意

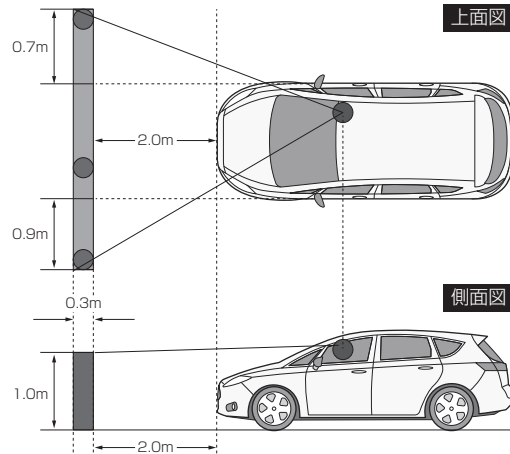
本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切致しかねます。

本体の取り付け位置について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

前方視界基準

- 対象車両
専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車
- 基準概要
自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したものを鏡等を用いず直接視認できること

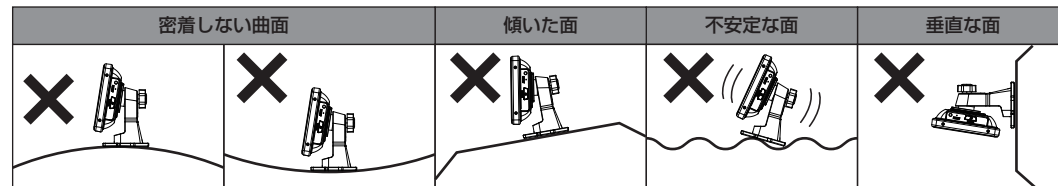


※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

取り付け時の注意事項

- 運転の妨げになる場所には絶対に取付けないでください。
- 付属のスタンドを使用してください。
- エアバッグ作動時の妨げになる場所には取付けないでください。（取付けについては安全を考慮してディーラーや販売店にご相談ください。）
- フロントガラスには取付けないでください。
- スタンドを取り付ける際は、凹凸のない平らな面をお選びください。
- 柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
- 車内の上方向、前方向に遮蔽物のない位置に設置してください。

- エアコンの風が直接当たる所に設置すると結露を起こす可能性があります。風が当たらない所に設置してください。
- 車内の電子機器との距離が近いと本製品が誤作動する場合があります。必ず取り付けの前に動作確認をおこなってください。
- 動作確認の際には必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてからおこなってください。
- 取り付ける前に、本機に電源ケーブルが接続でき、操作がおこなえる位置かどうかをご確認ください。
- 下記のような場所には取付けないでください。
※スタンドが落下するおそれがあります。



- ダッシュボード上に専用スタンドを貼る際は、前方視界を十分に確保でき安全基準を確保できる位置を決定後貼り付けてください。
- 専用スタンドの貼付け位置が決定したら、貼付け面のホコリや油分などを十分にふき取ってから貼り付けてください。
- 両面粘着テープの貼付けは一回のみです。貼り直しはしないでください。（貼付け強度が極端に落ち、落下のおそれがあります。）
- 両面粘着テープは貼付け直後は接着強度が弱いので、24時間以上おいてから製品を取り付けてください。
- 両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、貼付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- ご使用になるまえに、ロック、粘着テープなどが確実に取付いていることを確認してからご使用ください。
- 直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。



注意

ダッシュボードの上など直射日光の当たる高温になる場所でご使用になる場合、ご使用にならないときは外して高温にならない所で保管してください。また、長時間車から離れる場合は本体をホルダーから外し保管してください。落下による故障の原因になる場合があります。

機器の接続前に



警告

当製品は走行中に助手席、後部座席の方の操作、利用を目的として販売している製品です。運転者が自動車が停止しているとき以外に、画面を注視し画面など操作するという行為は、「道路交通法第 71 条第 5 号の 5※」違反に問われます。

製品の操作、画面の注視などをし事故、違反行為、損害などが発生した場合または事故などに関わる第三者との間に紛争が生じた場合は、原因が機能変更にあるとしても当方に責任を追及することは一切せず、自らの責任と費用をもって処理、解決し当方への一切の責任請求しないことをお願いします。

第 71 条

条車両等の運転者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

五の五

自動車又は原動機付自転車（以下この号において「自動車等」という。）を運転する場合においては、当該自動車等が停止しているときを除き、携帯電話用装置、自動車電話用装置その他の無線通話装置（その全部又は一部を手で保持しなければ送信及び受信のいずれをも行うことができないものに限る。第百十八条第一項第四号において「無線通話装置」という。）を通話（傷病者の救護又は公共の安全の維持のため当該自動車等の走行中に緊急やむを得ずに行うものを除く。同号において同じ。）のために使用し、又は当該自動車等に取り付けられ若しくは持ち込まれた画像表示用装置（道路運送車両法第四十一条第一項第十六号若しくは第十七号又は第四十四条第十号に規定する装置であるものを除く。第百十八条第一項第四号において同じ。）に表示された画像を注視しないこと。

電波に関するご注意



注意

- 本機は電波法に基づく省電力データシステム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本機を使用するときには無線局の免許は必要ありません。また、本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項をおこなうと法律に罰せられることがあります。
 - ・分解 / 改造する。
 - ・本機に貼ってある証明シールをはがす。
- 本機の無線機能は、2.4GHz/5.2GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用しているので、電波の干渉により無線機能の接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波の干渉を受けにくい方式ですが下記の内容に注意してください。
 - ・無線 LAN を利用した AV 機器、防犯機器などをしようとしている環境で、本機の無線機能を使うと、接続が途切れたり、無線 LAN 機器の動作に影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも 2.4GHz 周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - ・火災報知器、ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、コンピュータなど）
 - ・工場や倉庫などの物流システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - ・マイクロ波治療器、ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - ・自動ドア、万引き防止システム（書店、CD ショップなど）
 - ・アマチュア無線局など
- IEEE802.11n、IEEE802.11a 通信利用時は 5.2GHz 帯の電波を使用しております。5.2GHz 帯の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。本製品は屋内及び車室内のみでご利用下さい。
 - ・W52（5.2GHz 帯 / 36, 40, 44, 48ch）が利用できます。

2.4 FH1/DS/OF 2



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
FH / DS / OF : FH-SS, DS-SS, ODFM 変調方式を表します。
1 : 想定される干渉距離（約 10m）を表します。
2 : 想定される干渉距離（約 20m）を表します。



全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

IEEE802.11a/n/ac

J52

W52

W53

W56

商標について

Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

App Store および Apple ロゴは、は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

※Apple、Apple ロゴ、は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

※iPad、iPhone は Apple inc. の登録商標です。

※iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

※iOS 商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています

※App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。

※Apple CarPlay は米国の Apple 社が提供するサービスです。

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance が所有する商標または登録商標です。

対応 OS について

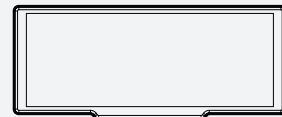
●対応 OS

・Android OS 10 以上

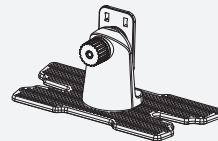
・iOS13 以上

取扱説明書には端末機器との接続方法のすべてを記載しているわけではありません。端末機器側の操作方法が不明な場合は端末機器の取扱説明書やメーカーへのご確認をお願いします。

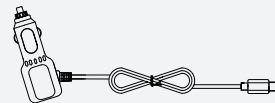
同梱品



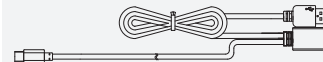
本体



専用スタンド



シガー電源ケーブル（4500mm）
※FUSE 3A 内蔵



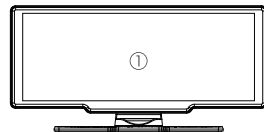
補助電源ケーブル
（1200mm）



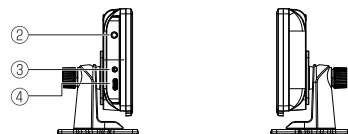
取扱説明書
（保証書付き）

各部名称

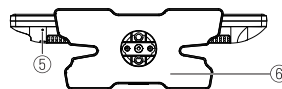
正面



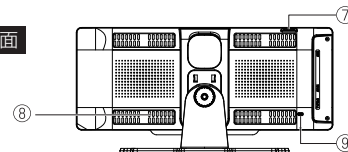
側面



底面



背面



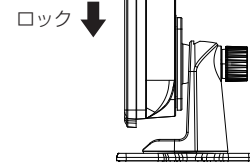
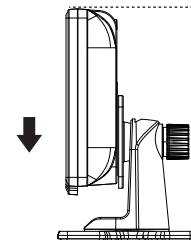
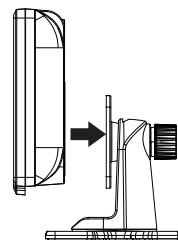
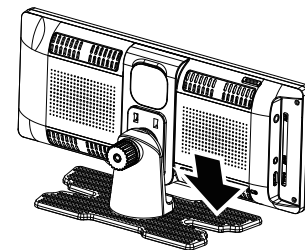
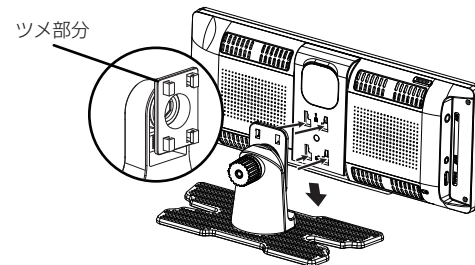
- ①画面 (8.1 インチ)
映像、設定内容を表示します。
- ②AUX 出力端子
本機から音声を出力します。
- ③リアカメラ入力端子
外部カメラ (別売) を接続します。
- ④USB Type-C
シガー電源ケーブルを接続します。
- ⑤マイク
ハンズフリー通話、音声認識入力で使用します。
- ⑥専用スタンド
本機に取り付けます。取り付け方法は (⇒P.16)
- ⑦電源
電源をオン / オフします。
- ⑧スピーカー
本機の操作音、音声出力されます。
- ⑨リセット
本機を再起動します。(※設定は保持されます。)

車両への設置 (本体)

■専用スタンドを本体へ取り付ける。

本体背面の溝に専用スタンドのツメ部分をはめ込みます。

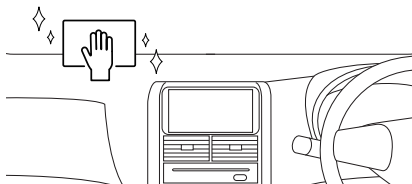
本体を下に差し込みロックします。
※奥まで確実に差し込んでください。



車両への設置（本体つづき）

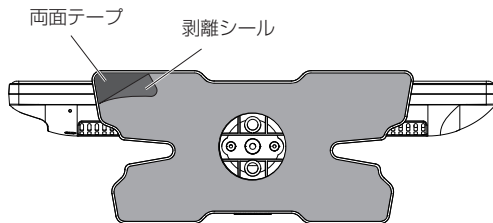
①専用スタンドの貼り付け

ダッシュボードの専用スタンド貼り付け位置のホコリや油分などを拭き取ります。



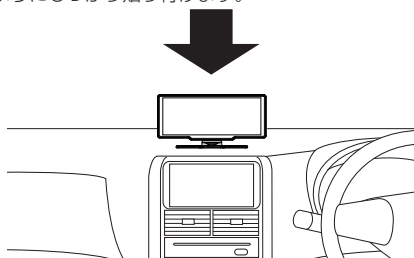
②専用スタンドの剥離シールを剥がす

専用スタンド裏の両面テープの剥離シールを剥がします。



③本体をダッシュボードに設置する。

本体を取り付ける位置を決めます。走行中に剥がれないようにしっかり貼り付けます。



⚠ 注意

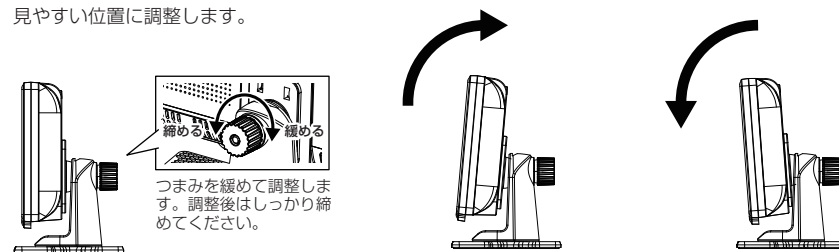
- ・取り付けは必ずエンジンを切った状態でおこなってください。
- ・本機に電源ケーブルが接続でき、ボタン操作がおこなえる位置かどうかをご確認して取り付けてください。
- ・両面テープの貼り付けは貼り直しはできません。慎重におこなってください。

車両への設置（本体つづき）

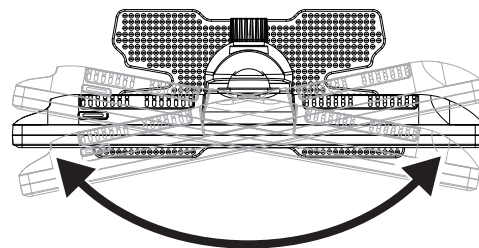
■ 本体の角度を調整する

運転中、見やすい位置に調整します。

上下



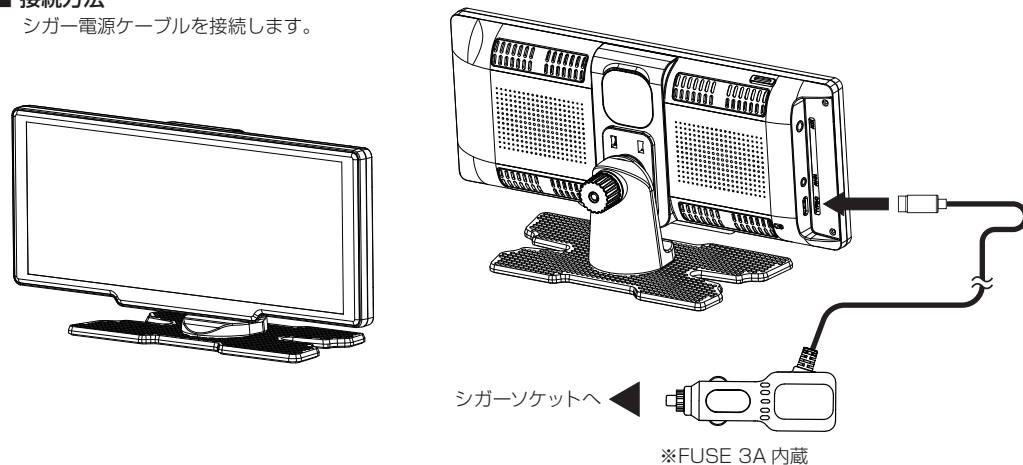
左右



車両への設置（本体つづき）

■ 接続方法

シガー電源ケーブルを接続します。



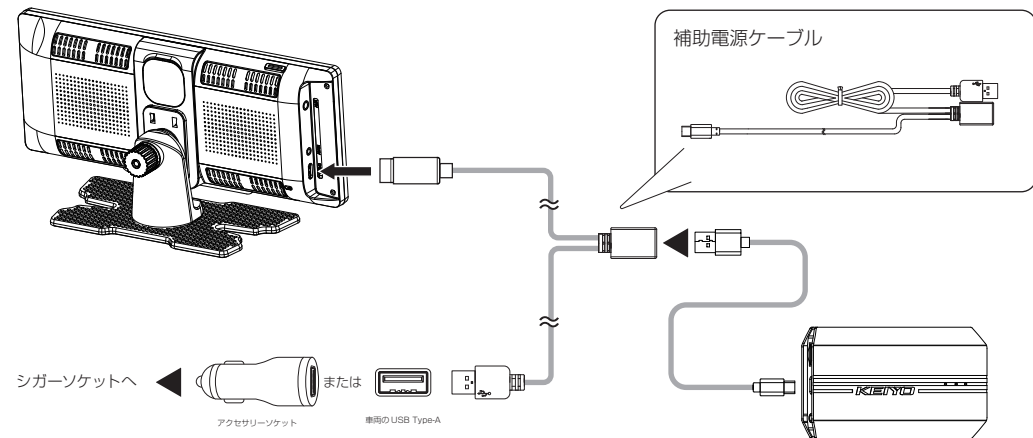
※ シガープラグ接続の場合・・・

車両によっては ACC オフでもシガーソケットへ給電するものがあります。使用後はシガープラグを抜き、ご使用の際はエンジンスタート後にシガープラグを接続されることをおすすめします。

車両への設置（本体つづき）

■ 接続方法

マルチデバイスなど外部機器を接続する場合は、補助電源ケーブルをお使いください。



シガーソケットへ



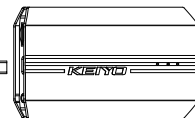
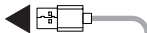
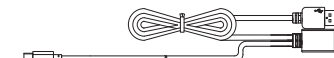
アクセサリソケット

または



車両の USB Type-A

補助電源ケーブル



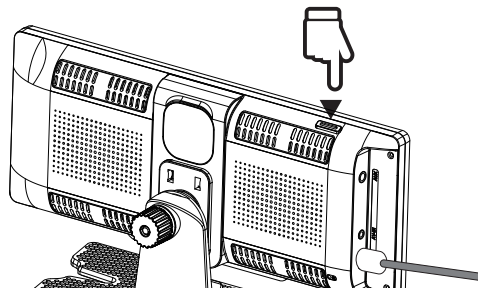
動画アプリなどが観れるマルチデバイス

安価なアクセサリソケットを使用すると、本体又はディスプレイが正常に動作しないことがあります。弊社製 OP-055ACA のご使用をご検討ください。

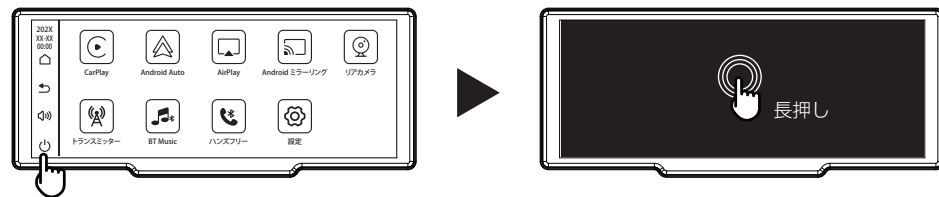
操作する

■電源オン/ 電源オフ

本機横部の電源ボタンを短押しで【電源がオフ】になります。電源オフ状態から短押しすると再び【電源がオン】になります。



※画面上の電源マーク【】短押しで【画面がオフ】になります。画面を長押しすると【画面がオン】になります。



操作する (つづき)

■タッチパネルの操作。

タッチパネルを指で操作します。

①タップ

画面をタップし、項目を選択します。



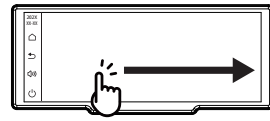
②ダブルタップ

画面に軽く指を触れてすぐに指を離すことを2回繰り返す操作です。



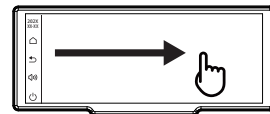
③ドラッグ

指で長押ししたまま接触面を離さないように対象項目を移動させ、離します。



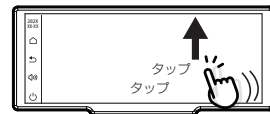
④スライド

タッチパネルの画面上に指を置いて画面から離さずに別の場所に動かす操作です。



⑤拡大

ダブルタップした後に上方向にドラッグします。



※アンドロイド OS の一部の機種のみ対応

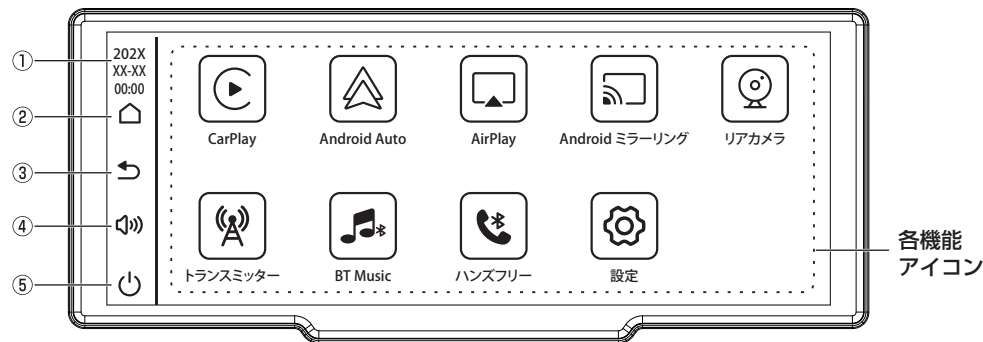
⑥縮小

ダブルタップした後に下方向にドラッグします。



※アンドロイド OS の一部の機種のみ対応

ホーム画面



①日付表示

西暦から日付を表示します。

④ボリューム

音量の調整をします。

②ホーム

メインメニューに戻ります。

⑤電源

画面を ON/OFF します。

③戻る

ひとつ前の画面に戻ります。

メイン画面



CarPlay

Apple 社製の CarPlay を起動します。
未接続、接続済みが確認できます。



Android Auto

Google 社製の AndroidAuto を起動します。
未接続、接続済みが確認できます。



AirPlay

Apple 社製のスマートフォンやタブレットなどの端末機器の画面をミラーリングします。



Android ミラーリング

AndroidOS のスマートフォンやタブレットなどの端末機器の画面をミラーリングします。



リアカメラ（別売）

リアカメラを接続後、リアカメラの映像を表示します。
※リバーシ信号に連動して画面を自動的に切換えにも対応しています。



FM トランスミッター

FM ラジオの周波数を利用し、音声案内や音楽などを車のスピーカーから出力します。オン／オフの設定が可能です。



BT Music

Bluetooth の接続後、音楽再生できます。



ハンズフリー

Bluetooth の接続後、電話機能が使用できます。



設定

各種機能の設定をおこないます。

CarPlay

①CarPlayを開く

ホーム画面から「 CarPlay」をタップ



②画面の指示に従い端末機器と同期する

iPhoneやiPadなどの端末機器を画面の指示に従ってBluetooth接続する。



③端末機器と同期する

端末機器の設定からBluetooth接続する。



CarPlay(つづき)

④端末機器を操作する

1. 設定から Bluetooth を選択し「BT-N004-※※※※」をタップ

2. ペ어링の要求画面が出たら「ペアリング」をタップ

3. 連絡先などの同期をお好みでお選びください。

4. CarPlay に接続して完了



⑤CarPlay画面

CarPlay の画面に切り替われば完了です。



⑥CarPlayの解除・削除

CarPlay の解除や登録削除は端末機器側でおこないます。



Android Auto

①Android Autoを開く

ホーム画面から「 Android Auto」をタップ



②画面の指示に従い端末機器と同期する

スマートフォンやタブレットなどの端末機器を画面の指示に従ってBluetooth接続する。



③端末機器と同期する

端末機器の設定からBluetooth接続する。



Android Auto(つづき)

④端末機器を操作する

1. 接続設定からBluetoothペア設定をします。
2. 新しいデバイスとペア設定をタップし、「BT-N004-***」を追加
3. ペアリングの要求画面が出たら「ペアリング」をタップ



⑤Android Auto画面

Bluetooth 接続が有効になり、Android AUtoの画面に切り替われば完了です。



⑥Android Auto解除・削除

端末機器のネットワークとインターネット接続設定の「インターネット」からデバイスの詳細内の削除、「接続を解除」を選択し Android Auto の解除をおこないます。



※使用する端末機器のメーカー、機種により名称や手順が異なります。
※画像は一例ですのでメーカー、機種により異なります。

AirPlay

①AirPlayを開く

ホーム画面から「 AirPlay」をタップ



②画面の指示に従い端末機器とWi-Fi接続する

iPhoneやiPadなどの端末機器を画面の指示に従ってWi-Fi接続する。



③端末機器の操作

1. 設定から Wi-Fi を
タップ

2. 「Wi-Fi-N004-※※※※」
をタップ

3. パスワード
「12345678」
を入力

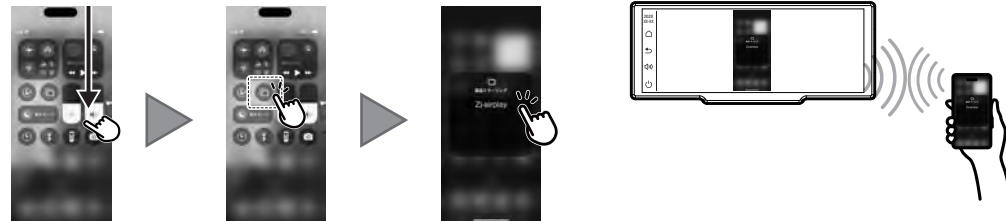
4. 「Wi-Fi-N004-※※※※」
にチェックマークがつけば
成功です。



AirPlay(つづき)

④コントロールセンターを開く

1. iPhone の Face ID モデルはインカメラの右 (画面右上端) から下にスライドします。
2. コントロールセンターのミラーリングをタップ
3. 画面ミラーリングから「Zj-airplay」をタップ
4. 本体に端末機器の画面が同期されたら接続成功です。



⑤AirPlayの解除・削除

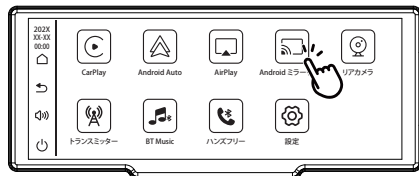
端末機器のミラーリングを OFF もしくは、設定の Wi-Fi 「Zj-airplay」をタップし設定を削除します。



Android ミラーリング

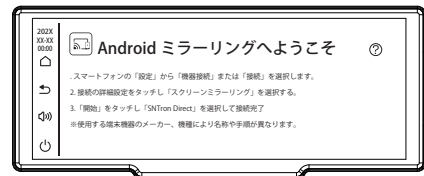
①Androidミラーリングを開く

ホーム画面から「 Android ミラーリング」をタップ



②画面の指示に従い端末機器とWi-Fi接続する

スマートフォンやタブレットなどの端末機器を画面の指示に従ってWi-Fi接続する。



③端末機器の操作

1. スマートフォンの「設定」⇒「接続機器」⇒「接続の詳細設定」⇒「スクリーンミラーリング」へ移動



！ 注意

- ・設定方法、接続時の名称など端末によって異なります。詳細に関しては各端末の取扱説明書などをご確認ください。
- ・端末機器の縦横表示に対応しています。
- ・著作権保護機能のある動画配信サービスの動画はミラーリングができません。

Android ミラーリング (つづき)

③端末機器の操作 (つづき)

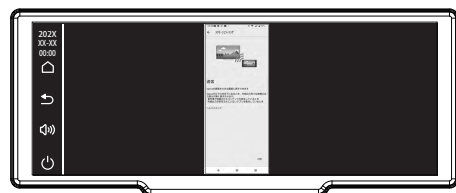
2. 「スクリーンミラーリング」を開始⇒「検索開始」

3. 「検索開始」⇒「OK」

4. 検索画面の「SNTron Direct」を選択して接続を完了させます。



画面が切り替わりましたら、完了です。



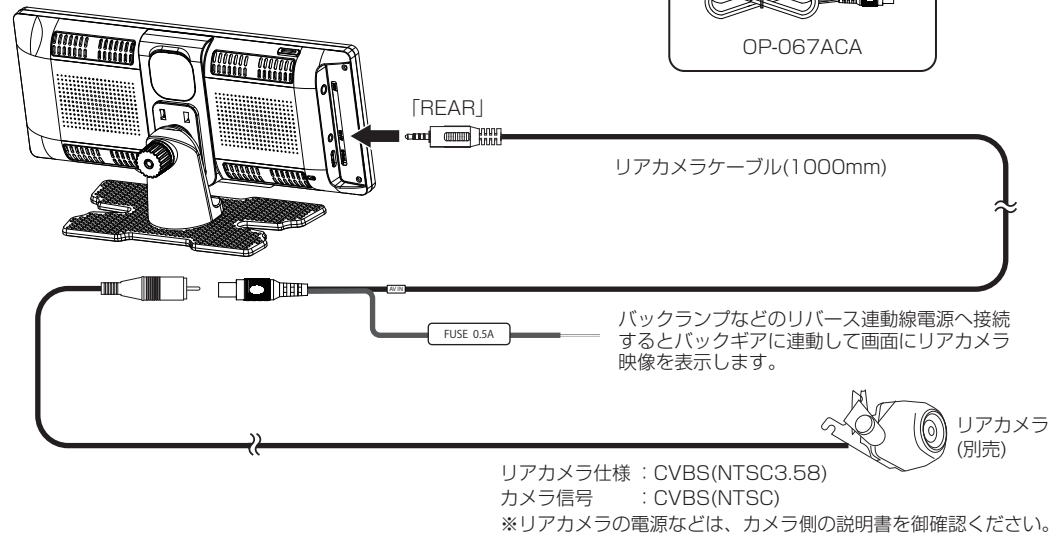
※接続を解除するには、端末側の操作をお願いします。



リアカメラ

①リアカメラの接続

リアカメラ(別売)とリアカメラケーブル(別売)を使用し本体に接続します。



リアカメラ(つづき)

②リアカメラを開く

ホーム画面から「 リアカメラ」をタップ



③リアカメラの映像表示

リアカメラの表示されます。
またバックギア連動配線をしバック連動を設定すると、バックギア連動で画面が切り替わります。連動設定は(⇒P.42)



トランスミッター

①トランスミッターを使用する

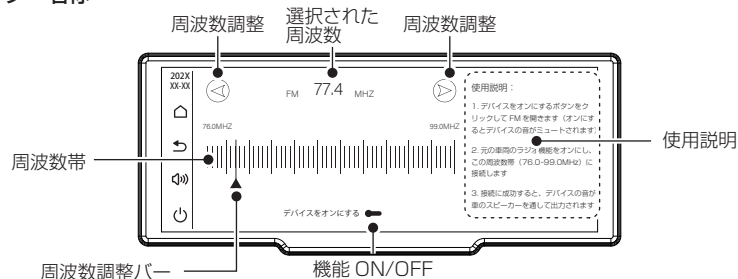
本体に接続したスマートフォンなどの音声をFM電波に変換し、車のスピーカーで再生可能にします。

②トランスミッターを開く

ホーム画面から「 トランスミッター」をタップ



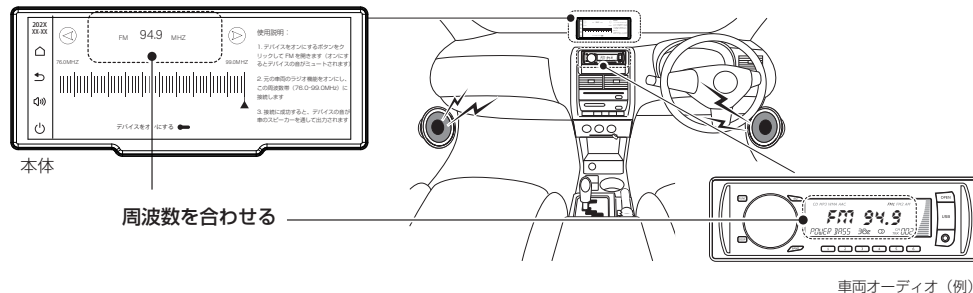
■トランスミッター名称



トランスミッター (つづき)

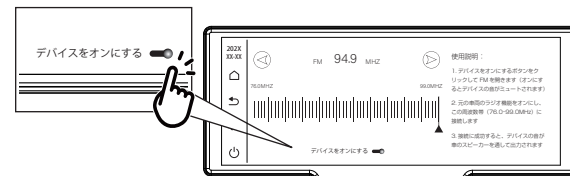
③車両のFMラジオと周波数を合わせる

周波数を合わせることで、車両のオーディオ機器から音声ができます。



④デバイスをオンにする

「デバイスをオンにする」をONにするとディスプレイオーディオ本体の音声から、車両側のFMラジオの音声に切り替わります。

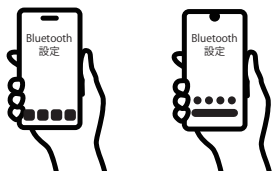


※地域によっては、同じ周波数のラジオを受信し音声が入り混じる場合があります。混線した場合は周波数を変更してください。

BT Music

①BT Musicを使用する

Bluetoothを使用する場合、本体と端末機器のBluetooth接続が必要になります。Bluetoothの接続方法は、各スマートフォンのBluetooth接続から接続をお願いします。



③BT Music開く

ホーム画面から「BT Music」をタップ



②接続を確認する

ホーム画面から「設定」をタップし「Bluetooth」から接続を確認します。



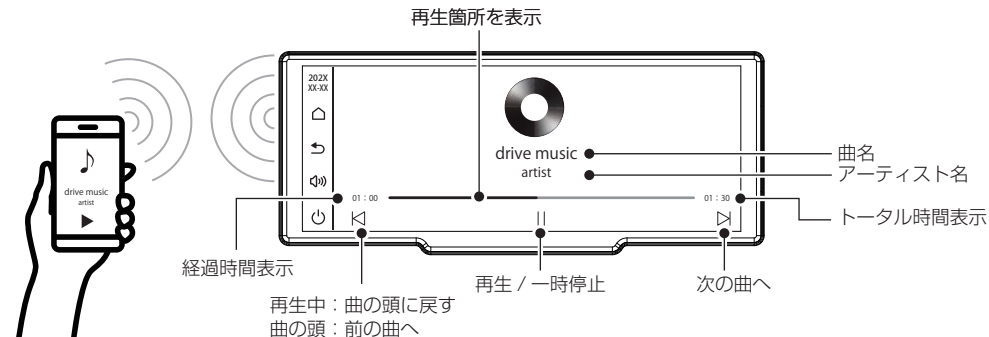
※BT Musicを使用する場合CarPlay / Androidオートを接続中の場合は画面の指示に従い接続を切断します。



BT Music(つづき)

④本体で操作

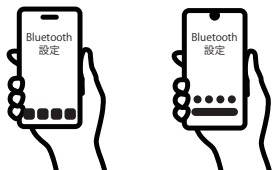
スマートフォンの音楽プレーヤーを立ち上げ再生すると、本体に再生された曲のタイトルが表示されます。表示後、本体で操作が可能です。



ハンズフリー

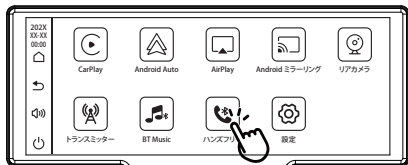
①ハンズフリーを使用する

ハンズフリーを使用する場合、本体と端末機器のBluetooth接続が必要になります。Bluetoothの接続方法は、各スマートフォンのBluetooth接続から接続をお願いします。



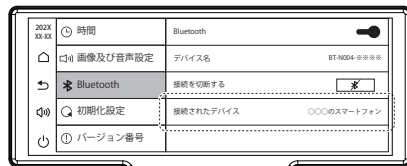
③ハンズフリーを開く

ホーム画面から「ハンズフリー」をタップ



②接続を確認する

ホーム画面から「 設定」をタップし「Bluetooth」から接続を確認します。



※Apple CarPlayやAndroid Auto接続中の場合は、スマートフォン側の接続を解除してください。



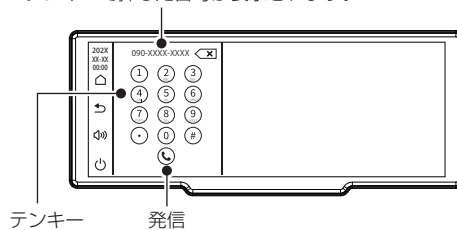
※CarPlay の表示例

ハンズフリー（つづき）

④ハンズフリーで電話をかける

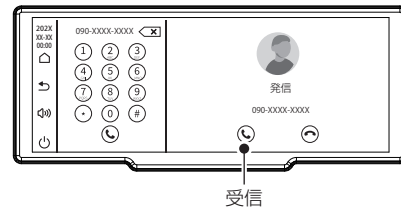
テンキーで番号を入力し、「」発信をタップします。

テンキーで押した番号が表示されます。



⑤ハンズフリーで電話をうける

着信中の画面の「」受信をタップします。



※スマートフォンの機種により、一部の機能が制限される場合があります。

※CarPlay、AndroidAutoと併用はできません。

設定

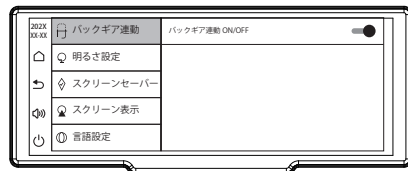
①設定を開く

ホーム画面から「 設定」をタップ



②各種設定

設定内から本体の各種設定ができます。



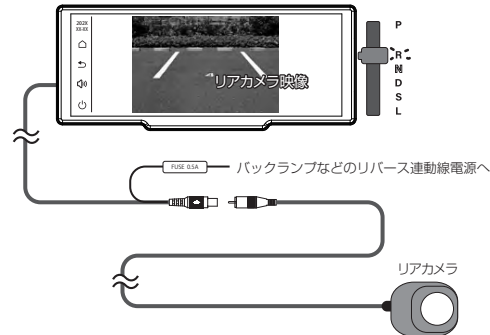
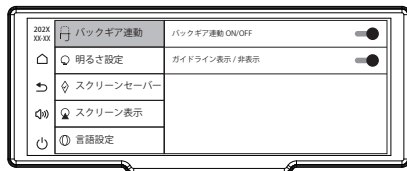
■バックギア連動(初期設定:OFF)

車両のシフトレバーをバックギア(R)に切り替えると、リアカメラの映像を本体の画面に表示します。

バック連動：ON/OFF(初期設定OFF)

ガイドライン表示：表示/非表示(初期設定OFF)

※バックギア連動させるための配線が必要です。



設定（つづき）

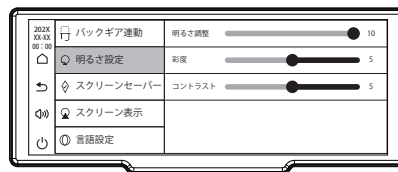
■明るさ設定

画面の明るさを設定します

明るさ調整（初期設定:10）：0～10

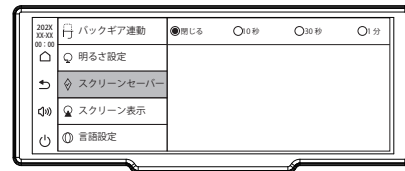
彩度（初期設定:5）：0～10

コントラスト（初期設定:5）：0～10



■スクリーンセーバー(初期設定：OFF)

ディスプレイの保護機能、起動する設定を変更できます。：OFF/10秒/30秒/1分

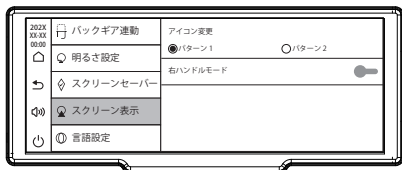


設定（つづき）

■スクリーン表示

アイコン変更（初期設定：パターン1）
パターン1 / パターン2

右ハンドルモード（初期設定：OFF）：ON/OFF



■言語設定(初期設定：日本語)

表示する言語の設定ができます。
日本語 / English / 簡体中文 / 繁体中文

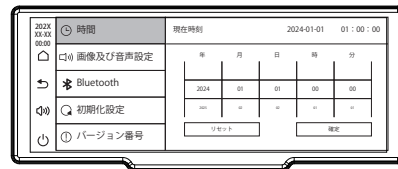


※設定変更すると本体は再起動します。

設定（つづき）

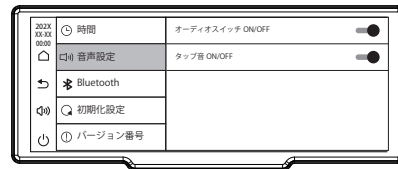
■時間

日時の設定ができます。
日時を合わせ、「確定」をタップ後合わせた時刻が反映されます。



■音声設定

オーディオスイッチ（初期設定：ON）
CarPlay、Android Auto音声：ON / OFF
タップ音（初期設定：ON）：ON / OFF



設定（つづき）

Bluetooth

Bluetooth（初期設定：ON）：ON/OFF

デバイス名：Bluetooth接続時に表示される名称です。

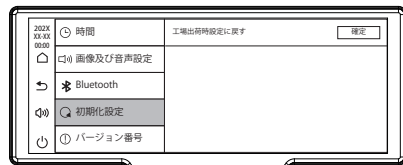
接続を切断する：本体と機器の接続を解除します。※

接続されたデバイス：本体に接続された機器を確認できます。



初期設定

本体を工場出荷時設定（初期化）に戻します。



※本体との接続を解除しても機器側（スマートフォンやタブレット）に Bluetooth の設定が残っている場合は、自動的に再接続されます。

製品仕様

対応 OS	Android OS:10 以上 14 以下 iOS:13 以上 18 以下
対応アプリ	CarPlay,AndroidAuto,AirPlay,Android ミラーリング
本体サイズ	(W)245.2×(H)113.1×(D)68.1mm(スタンド部含む)
質量	398g
LCD	10.26 インチ IPS 液晶パネル / 解像度 1600×600/ 輝度 480cd/m ²
OS	Linux
RAM	128MB
ROM	8GB
Wi-Fi	2.4GHz、5.0GHz
Bluetooth	Bluetooth 4.2
マイク	内蔵
スピーカー	内蔵 4Ω 3W
FMトランスミッター	76.0～99.0MHz
Wi-Fi/BT/FM アンテナ	内蔵
インターフェース	USB TYPE C 端子(給電)
	リアカメラ入力端子×1(φ2.5mm 端子)
	AUX 出力端子×1(3.5mm[3-Pole] ステレオ端子)
ボタン	電源 ON/OFF ボタン×1 / リセットボタン×1
電源入力	DC 5V(シガー電源ケーブル DC12/24V 車に対応)
動作温度範囲	-10℃～60℃
保存温度範囲	-20℃～65℃

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

保証規定

- 取扱説明書の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障個所の修理をさせていただきますので、お買い上げ販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責任を負わないものとします。
- 海外で使用された場合、あるいは不当な改造については弊社社は一切の責任を負わないものとします。
- 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、取り付け、取り外し費用および諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包のうえ、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段(簡易書留や宅配など)をご利用ください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書に保証期間、品名、販売店、お買い上げ日の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - お客様による輸送、移動時の落下、衝撃など、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損害の場合。
 - お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および損傷。
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災事変、事故、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - 本製品に接続している弊社指定以外の機器および製品に起因する故障および損傷。
 - 正常なご使用方法でも消耗品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
- ご不明の点は、お買い上げ販売店にご相談ください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only Japan.)

保証書

持ち込み修理

本書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示のうえお買い上げの販売店または、株式会社慶洋エンジニアリングに修理をご依頼ください。本書の再発行はおこないませんので、紛失しないように大切に保管してください。

品名	ディスプレイオーディオ
機種名	AN-N004
保証期間	お買い上げ日より 1 年間 (本体)
	お買い上げ日: 年 月 日
販売店名	住所 電話番号

ご販売店様へ

お問い合わせ先

KEIYO
ENGINEERING

株式会社 慶洋エンジニアリング

〒105-0004

東京都港区新橋6丁目13-1 第3長谷川ビル

<https://www.keiyoeng.co.jp>



LINEでのお問い合わせ

LINE 公式アカウントから、お問い合わせをいただけます。
オペレーターがサポートしますので、お気軽にご利用ください。

【本サービスご利用時の注意事項】

- LINE アプリのインストールが必要です。
- 本サービスでは、LINE 音声通話／ビデオ通話での対応はおこなっておりませんので、あらかじめご了承ください。
- オペレーター回答時間
使い方／修理窓口：受付時間：平日 10 時～12 時 / 13 時～17 時
(土日祝日と弊社指定休業日は除く)

ご利用方法

LINE アプリがインストールされたスマートフォンなどの携帯端末から、以下の「二次元コード」を読み取ってください。

